

「柏崎の橋」

8 佐橋・善条橋

大正8年～13年の鯖石川大改修が行われるまで、中鯖石地区で鯖石川に架かる橋は、佐橋・善条橋の2つだけだった。（郷土誌大正・昭和・平成の中鯖石）

郷土誌中鯖石村誌（大正元年発行）は、鯖石川の名称の由来について、「大日本地名辞書ニ此川ノ辺往昔魚類ノ化石ヲ生セシヲ以テ鯖石川ト呼ヒタリ云々トアリ 此川往古ハ佐川（又は左川）ト呼ビ鵜川（右川）ニ相對シ以テ刈羽郡ノ二大川ト称セラレシカ後佐橋川ト称シタル由古傳ニ見エタリ」と記し、佐橋について、「大字加納南端ヨリ分レテ大字善根佐之久ニ通スル里道ニ架ス明治十年ノ架設ニ係ル」と記し、善条橋（ここでは南條橋）について、「加納ヨリ分レ南條大字善根ニ通スル里道ニ架ス南條村民及善根ノ一部ノモノノ共同経営ナル由ナリ」と記している。

善条橋は、明治に橋が架けられるまでは、南条の渡し場の位置にあった。柏崎文庫では、南条村の箇所に、「鯖石川 村の西端を流る 幅二十間 渡場一ヶ所 舟渡し（今善條橋を架す）」とある。北条町史には、明治9年に船賃を県に届出し、明治13年に渡船を新造した様子が記されている。



新潟県刈羽郡中鯖石村圖（部分）
中央の太い線が鯖石川、細い線は道路
左側の矢印が佐橋、右側の矢印が善条橋



上：善条橋（善條橋） 昭和40年2月竣工
下：鯖石橋 昭和39年3月竣工

佐橋は、昭和8年に佐之久からの新しい道路が開通したのにもない、コンクリート製の鯖石橋が架けられた。柏崎文庫では、「佐橋ばし 明治十一年十月廿九日 佐之久田村喜平 村松久平など 発起して鯖石川に架す」とある。

鯖石川は、大正期の大改修により、川筋が大幅に変わった。改修前の川筋は、新潟県刈羽郡中鯖石村圖（縮尺1万5千分の1、大正5年頃）に記されている。

現在、中鯖石地区で鯖石川に架かる橋は、上流から久里橋・笹良田橋・鯖石橋・加納橋・八石橋・善条橋の6つである。

●参考にした本

- ・柏崎文庫 第19巻（080 セキ）237、394ページ
- ・新潟県刈羽郡中鯖石村圖
（新潟県刈羽郡中鯖石村是（224 ナカ）表紙見開きに所収）
- ・郷土誌 中鯖石村誌（224 ナカ）8、12ページ
- ・郷土誌 大正・昭和・平成の中鯖石（224 ナカ）47ページ
- ・北条町史（224 ツキ）455～457ページ